

広報

ただみ

5
2026 月号

No. 672
令和8年5月10日

今月の表紙

【ブナの一斉開花観察会】

4月19日、4年ぶりの開花となったブナの一斉開花観察会では、町内外から訪れた多くの参加者が、余名沢のブナ林でブナの開花状況を観察しました。参加者は20m以上も上にあるブナの枝先を双眼鏡で見上げ、花が咲いているか確かめました。（関連記事：P2～3）

〈特集〉

「自然首都推進室」ができました …… 2～3

町内で入園式、入学式 …… 4～5

〈News&flash〉 …… 6

〈町の話〉 …… 7～9



令和8年4月の町役場組織編成により、総務企画課内に「自然首都推進室」ができました。只見ユネスコエコパークが登録されてから11年。これまでのユネスコエコパークの取り組みを振り返り、3月に制定された「只見ユネスコエコパークを推進する条例」や、自然首都推進室の目的や役割について紹介します。



広報ただみの表紙にもあるロゴマークは、只見ユネスコエコパークの理念と住民の決意、協働のシンボルです。

特集

「自然首都推進室」ができました

これまでの
只見ユネスコ
エコパークの取り組み

平成26年に登録された只見ユネスコエコパークを管理運営する只見ユネスコエコパーク推進協議会（会長：只見町長）は、10年間の活動をユネスコへ報告し、令和7年9月に登録継続が決定しました。10年間の主な活動として①自然環境・野生生物の保護・保全活動 ②学術調査研究・教育・文化活動 ③持続可能な地域の社会経済的な発展の取り組みを展開しました。これらの活動が評価された一方、町内外を取り巻く環境は変化し、残された課題への対応が求められています。

条例の制定
地域づくりへの
決意を新たに

令和8年只見町議会3月議会において「只見ユネスコエコパークを推進する条例」が可決・成立しました。この条例は只見ユネスコエコパークの理念に基づき、町や町民などが一丸となって自然環境を守り、伝統文化を継承することで、豊かで持続可能なまちづくりを決意するものです。町は只見ユネスコエコパークの登録継続を機会に、町のキャッチフレーズである「自然首都・只見」を具体化するために、新たに「自然首都推進室」を立ち上げました。

自然首都推進室は
「横断的な司令塔」

自然首都推進室の目的は、ユネスコエコパークを枠組みとした施策を実施し、自然・文化・地域経済を統合的に維持・発展させることです。まちづくりの根底となる理念を実現するために、町役場内の業務をつなぎ実行に動いていく、横断的な司令塔の役割を担っています。これまでの只見ユネスコエコパークの活動を活かしつつ、新たな課題に対応するため、自然首都推進室は様々な取り組みを進めていきます。

10年間の成果をちょこっと紹介



「伝承産品」のブランド化

地域資源を持続可能な形で活用してきた只見町の伝統的な生活文化。受け継がれてきた文化を「『自然首都・只見』伝承産品」として、継承、発展させてきました。



只見町を活かした教育推進

只見町には人と自然が共生するお手本となる自然、文化、歴史のフィールドがあります。これらを活かした教育を推進しています。

令和8年度 自然首都推進室の主な取り組み

①自然資源の活用や循環の仕組みをつくりま

- ・間伐した木を薪や用材として活用し、地域経済への貢献を図ります。
- ・公共建築に町産の針葉樹を使用し、伐採後の土地にブナを植えます。



②インフラ整備について、自然との調和を図ります

- ・国道289号八十里越が令和9年夏に暫定開通することを踏まえ、具体的な自然環境対策を進めていきます。
- ・公営・民営の自然文化施設との連携を図っていきます。



③豊かな自然環境の新しい活用モデルを創出します

- ・水田の生態系を主にした生物多様性の学習体験を提供します。
- ・観察の森など森林を活用したプログラムを検討します。



④只見ユネスコエコパークの発信を強化します

- ・ただみ・ブナと川のミュージアム、ふるさと館田子倉の機能充実を図ります。
- ・「自然首都・只見」宣言20周年記念事業の準備（令和9年度）



4年ぶり！ ブナの花が一斉開花

只見町の町木は「ブナ」。只見ユネスコエコパークの拠点「只見町ブナセンター」にもその名が付けられています。

4月19日に開催されたブナの一斉開花観覧会では、ブナセンター館長の紙谷智彦・新潟大学名誉教授が、ブナが花を咲かせる仕組みについて参加者に説明しました。

ブナの花は3〜4年の間隔で咲いています。ブナセンターの調査によると、前回花が咲き実が豊作だったのは令和4年。今年は4年ぶりにブナの花が一斉に開花する年なのです。

ブナが種子を作るには、木に蓄えられた多くの窒素を使います。花を咲かせた翌年は必要な窒素が不足して、種子を作ることができません。ブナが凶作になると、種子を食べる昆虫や動物の数が減っていきます。ブナは捕食者が減った年に、また豊作となって生存する戦略を取っていると考えられています。

只見の自然とともに生きているからこそ、身近な自然から多くのことを学べるはずで、世代を超えて只見町の自然を守り、歴史を伝えていくために、一緒に只見ユネスコエコパークを盛り上げましょう。



ブナの花を配ってもらい、
分かりやすかったです

たくさんの説明を聞いて
よかったです

ブナ林に着いた瞬間の
感動はひとしお



観覧会の最後に記念撮影しました

ぶなのもりこども園
只見保育所 入園・入所式



4月3日、ぶなのもりこども園・只見保育所では
合同で入園・入所式が行われ、6日には小中学校
で、9日には只見高校で入学式が執り行われまし
た。新入生は緊張した面持ちでしたが、先生からの
呼名に元気よく返事をしていました。

希望を胸に、新たな船出



只見小学校

新入児童 5人
全校児童 37人

朝日小学校

新入児童 8人
全校児童 43人





明和小学校
 新入児童 7人
 全校児童 39人



只見中学校
 新入生 27人
 全校生 66人



只見高校
 新入生 20人
 (うち山村留学生9人)
 全校生 64人

消防団新体制へ
消防団辞令交付

3月31日、只見町消防団の目黒邦友前団長に渡部町長から退団の辞令が交付されました。目黒氏は10年間、団長として消防団を指揮されました。

また、4月1日に只見町消防団辞令交付式が行われ、三瓶一也団長、鈴木尚副団長、渡部文彦副団長、五十嵐敦彦副団長の4人に辞令が交付されました。

新体制発足にあたり、三瓶団長は「幹部一人一人の個性を活かし、より良い消防団を作っていきたい」と話されました。



▲新体制で予防消防に努めます
(左から)五十嵐副団長、渡部副団長、三瓶団長、鈴木副団長



▶退団された目黒前団長

有害鳥獣被害の軽減に向け
令和8年度実施隊・捕獲隊編成式

「令和8年度只見町鳥獣被害対策実施隊及び只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式」が4月13日に朝日公民館で開催されました。

今年度は只見地区16人、朝日地区9人、明和地区18人の計43人が実施隊員・捕獲隊員に任命されました。

渡部町長は「全国的にもクマの出没があると聞いている。隊の皆さまと意見交換をしながら、対策を強化していきたい。皆さまのお力なしに被害対策はできない。お力添えをお願いします」とあいさつしました。



▲隊を代表して辞令書を受け取る深津隊長

今年度の重点事業を報告
「町政報告会」開催

今年度の町の事業や各集落への協力事項などを報告・説明する「町政報告会」が、4月28日に季の郷湯らで開催されました。

報告会では、担当課から各区長に、県知事選挙の協力をお願い、たき火等の届出義務化、鳥獣被害防止対策事業費補助金、八十里越街道の開通、認定こども園バス活用時の安全確保をお願い、認定こども園施設整備と小学校統合の推進に関すること等の説明が行われました。

今年度も引き続き町政執行にご理解、ご協力をお願いします。



▲町政報告会の様子

乾燥や林野火災に注意を！
町内で防火パレード

只見町消防団と南会津地方広域消防署只見出張所による防火パレードが4月15日に実施されました。各分団のポンプ積載車などが明和公民館を出発し、町内を回りながら、無線で防火を呼びかけました。

ぶなのもりこども園では三瓶消防団長、目黒婦人消防隊長らが消防団の役割や火遊びはしないことを子どもたちに呼びかけました。子どもたちは「火の用心のおやくそく」を発表し、消防団員から拍手が送られました。



▲交流した子どもたちと消防団員の皆さん

沿線を走って、つないで

「只見線リレーマラソン」開催

JR只見線から会津若松駅までの28駅27区間をタスキで繋ぐリレー形式のマラソンイベント「只見線リレーマラソン」が4月4日に行われました。走ることで沿線の魅力を再発見し、「マイレール意識」を高め、只見線を応援しようと開催されています。3回目の今回は只見町や金山町の有志のほか、柳津町や会津美里町などからもランナーが参加し、36人がタスキをつなぎました。事務局の目黒英樹さんは「沿線や駅で応援してくれた皆さんに感謝。第10回まで走り続けたい」と話しました。



▲会津若松駅にゴールしたランナーとスタッフの皆さん

待ち遠しい春が来た！ 只見線全線再開通でお出迎え



▲只見線に手を振る只見小の児童と教職員の皆さん

雪の影響で一部区間で運転を見合わせていたJR只見線が、4月7日に全線での運転を再開しました。当日はJR只見駅に只見小の児童や教職員、只見町インフォメーションセンターの職員らが集まり、乗客を出迎えました。只見駅前では甘酒が振る舞われ、一時下車した乗客が味わっていました。

町外から訪れた乗客は「只見町は何度も来ている町。また只見線に乗って、町内での食事、登山や景色を楽しみたい」と話しました。

只見での新生活が始まる 「山村教育留学生対面式」開催

「只見町山村教育留学生第25期生対面式」が4月9日に只見公民館で開催されました。県内外から9人の山村教育留学生が只見町での新生活をスタートしました。

対面式では、渡部町長と佐藤町議会議長からお祝いの言葉が送られた後、山村教育留学生一人一人から将来の夢や只見高校での3年間でやりたいこと、目標に向かって努力する決意などが発表されました。奥会津学習センターのスタッフは「つらいことや困ったことはぜひ町内の話せる人に相談してほしい」と山村教育留学生にメッセージを送りました。



▲新生活を迎える山村教育留学生9人

朝日地区をきれいにしよう！「ちょボラごみ拾い」実施

「ちょボラごみ拾い」(朝日地区地域づくり委員会主催)が4月18日に行われました。昨年度から朝日小学校の学校行事として開催され、朝日小学校児童や地域住民ら約150人が参加しました。

ちょボラごみ拾いは地域住民が環境美化に取り組むとともに、ごみ問題や環境問題への意識の高揚を図ることを目的に、子どもから大人まで一堂に会する『ちょっとしたボランティア活動』として開催されています。参加者は地区内の国道や県道などで丹念にごみ拾いを行いました。



▲ごみ拾いに集まった地域住民の皆さん

皇子・以仁王の足取りを辿る「歴史講演会」開催



▲来場者は山崎氏(写真左)の説明に、熱心に耳を傾けました。

歴史講演会「皇子・以仁王、八十里を越えて―歴史に消された真実」(会津只見史談会主催)が4月18日に朝日公民館で開催されました。町内外から75名が来場しました。

講師の山崎玲^{あきら}氏は、平安時代の皇子・高倉宮以仁王について、平家との争いのなか、京を脱出して会津に逃れたとの説を研究しています。講演では、以仁王が長浜や楢戸、叶津や八十里を訪れたときの話を説明されました。山崎氏は「只見の人にこそ以仁王を知ってほしい、愛してほしい」と締めくくりました。

地球の課題を只見で考える 只見町×地球元気村 特別フォーラム開催

特別フォーラム「世界が憧れる只見をつ・く・る?!」(只見地球元気村実行委員会主催)が4月18日、只見公民館で開催されました。町観光大使である冒険家・風間深志氏が代表を務めるNPO法人「地球元気村」と町は、令和8年にさまざまな協働プロジェクトを展開していきます。今回の催しはその第1弾となります。

基調講演では、東北大学の石田秀輝名誉教授が環境負担の少ない生活様式への転換を説きました。対話では渡部町長と町民代表の平山真恵美氏が、町での暮らしや自然を語り、意見交換を行いました。最後に、風間氏のふるさと、山梨県の郷土料理「ほうとう」が参加者に振る舞われました。



▲対話する(左から)風間氏、平山氏、石田氏、渡部町長

地域探究の活動成果を発表

只見高校「総合的な探究の時間 最終報告会」開催

只見高校生による「総合的な探究の時間 最終報告会」が4月25日、只見高校で開催されました。3学年26名が6班に分かれ、町内における「森林・自然」「食・農業」「観光・暮らし」をテーマに、活動の成果を発表しました。

各班は、自然環境の魅力発信や子ども向けの体験企画、地域の方々と協力して開発した商品などの取り組みを、1・2年生や地域の方の前で発表しました。発表後は会場から質問や感想があげられ、地域の方からは「先輩たちの活動を引き継ぎ、年々クオリティが上がっている」と評価する声もありました。



▲成果をスライドにまとめて発表しました

ひゃくみだんす

百味筆筒から紐解く、漢方医療の歴史

「『芍薬の里・只見』一般公開セミナー2026」開催



▲資料の持つ価値について、調査した専門家が考えを述べました

「『芍薬の里・只見町』一般公開セミナー 生薬と花の町へ(その2) - 河井継之助記念館所蔵 百味筆筒が伝える漢方の世界 -」(有限責任事業組合クラウドゥ只見主催)が4月25日、只見公民館で開催されました。

講演では、薬草や漢方の効能、組合の活動について説明されました。また、昨年行われた河井継之助記念館所蔵の百味筆筒に関する調査についても解説されました。調査によると、塩沢村医・矢沢家で処方されていた漢方は、現代と同等の種類が整理・保存されており、専門家らは当時の医療文化を知ることができる資料だとの見解を示しました。参加者は町に伝わる生薬や漢方の歴史について理解を深めていました。

大人から子どもまで、みんなで大盛り上がり！

「大倉 桜まつり」が初開催

「大倉 桜まつり」(大倉区主催)が4月26日、大倉地区で開催されました。地区の活性化や町の発展に希望を持っていけるよう、今年初めて企画されました。

地区内外から30名以上の、のど自慢が集まり歌声を響かせました。大倉サロンと子どもたちによる踊りも披露され、観客から拍手が送られました。また、夜には色鮮やかな花火が打ち上げられ、夜空を彩りました。



▲歌や踊りを特設ステージの上で披露しました



▲暗くなってからは花火を楽しみました

ただみ・モノとくらしのミュージアム 第4回テーマ展 開催中!

ただみ・モノとくらしのミュージアムでは、第4回テーマ展「童話作家 ^{やまのうちのあき お} 山内秋生・戦争遺品からみる大正・昭和のただみ」を開催しています。当館では、2025年に、「戦後80年 ^{のこ} 遺された〈モノ〉が語る戦争と只見」と、「児童文学者 山内秋生の業績と作品一没後60年（生誕135年）只見町二軒在家出身の作家」のふたつの特集展示を開催しました。今回のテーマ展は、それらの特集展示の拡大版として開催するものです。

童話作家 山内秋生

大正期（1912～1926）の文化は大正ロマンと呼ばれ、新しい時代の理想を求める表現が生み出されました。山内秋生（明治23・1890～昭和40・1965）は、只見町二軒在家の九々生に生まれた児童文学作家です。少年雑誌を愛読し、15歳で上京して、日本児童文学の先駆者である ^{いわ や さぎ なみ} 巖谷小波に師事しました。夢や憧れを故郷只見で育んだ山内秋生は、童話を発表していきました。大正・昭和期に創作した童話は約150話、童話・実用書等の著書は14冊あります。児童文学を日本文学史に位置付けた研究業績があります。昭和40年（1965）11月8日、只見町大倉の比良林公園に山内秋生の短詩「故郷よ 山川よ つばめ 来るころよ」の文学碑が建ちました。その祝賀会の後の夜中、秋生は故郷で亡くなりました。2025年は没後60年、生誕135年でした。それを回顧して、秋生の作品を掲載した雑誌、童話集・実用書の著書を展示しています。



▲童話作家 山内秋生 展示風景
上は山内秋生年表、下は著書。



▲「秋生作品を読もう」コーナー
秋生の作品や、同時代の童話作家の作品を読むことができます。

戦争遺品

昭和戦前期（1926～1945）の1927年に、〈青い目の人形〉がアメリカから来日して、両国民の対立を和らげようとした。只見小学校ではその人形を保管してきました。しかし、日本は中国との全面戦争、米・英等連合軍との〈アジア太平洋戦争〉を起こし、15年間の戦争に敗戦しました。昭和20年（1945）に戦争が終結し、2025年は戦後80年でした。只見町が収集してきた民具や文書には、戦争に関する〈実物＝モノ〉が含まれています。遺された戦争に関する〈実物〉を展示しています。過去から伝わる〈実物〉は、現在の私たちに語りかけています。〈実物〉が語る〈声〉を聞き、戦争について考えていきます。〈実物〉を読みとり、〈語り〉＝情報・事実を聞き、受けとり、未来に伝えていきます。本や映像で見た戦争を、博物館では〈実物〉によって伝えていきます。本展では、1軍装 2出征 3戦死 4戦時生活 5空襲 のまとまりで展示しています。



▲戦争遺品 展示風景
左は軍装再現、右は戦時中の世界地図。



▲青い目の人形
製造：ホースマン社（アメリカ） 銘：ELH◎

ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報 **入館無料**
第4回テーマ展「童話作家 ^{やまのうちのあき お} 山内秋生・戦争遺品からみる大正・昭和のただみ」

会期：2026年3月24日(火)～2026年6月21日(日)
場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示ホール





町民文芸

只見短歌会 令和八年四月詠草

我三步孫は二歩なり散歩には歩調合はせてくるる優しさ
目黒 富子

戦場のニュースに心痛ましき桜開花の映像を見る
関谷登美子

春光の桜のもとを走る息子は風にまぎれて笑みこぼれたり
立花 奏音

ファンヒーターに駆け寄りスイッチONにする孫の食べしはアイスクリーム
新国由紀子

朝食に卵を割れば黄身二ついいことあるかとメール届きぬ
渡部ヨリ子

只見俳句会 四月定例会

春麗ら足受け止める苔布団
桃桜咲く公園に子等の声
尚 幸

踏青の一步を土が押し返す
春日の崖の起伏の荒々し
故(目黒レイ) 礼

坪山に屏風絵のごと椿燃ゆ
区会後の懇親会や春日和
修 一

瀬戸内のひねもす波に風ひかる
みちのくや古城の桜時止まる
信

終活は進まぬままに花便り
有るがまま無いがままなり春の波
都

ノカンゾウ若葉すうしな献立し
新聞を広げ日永や義母百寿
一 恵

花冷えや散り行く姿も哀れなり
人生の終着駅に我近し
睦 子



今月のお知らせ

試験

令和9年度只見町職員(大卒程度)(資格免許職)採用候補者試験を行います

一、試験職種及び採用予定人員

【大卒程度】

○土木 1名程度

○建築 1名程度

【資格免許職】

○保健師 1名程度

○看護師 1名程度

二、受験資格(学歴不問)

【大卒程度】

○土木・建築

昭和61年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者で、無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

【資格免許職】

○保健師

電話番号

総務企画課	総務係	企画係	財政係	☎ 82-5210
自然首都推進室 (ただみ・ブナと川のミュージアム)				☎ 82-5963 FAX 72-8356
町民生活課	町民税務係			☎ 82-5110
	生活安全係			☎ 82-5100
	保健福祉課			☎ 84-7005
	保健係			☎ 84-7005
	福祉係			☎ 84-7010
	成年後見センター			☎ 84-7010
農林建設課	農林係			☎ 82-5230
	建設係			☎ 82-5270
交流推進課	観光交流係	商工労働係		☎ 82-5240
会計室				☎ 82-5120
只見保育所				☎ 82-2219
認定こども園				☎ 84-2038
明和保育所				☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)				☎ 84-2221
こぶし苑				☎ 84-2612
只見公民館				☎ 84-2101
朝日公民館				☎ 82-2141
明和公民館				☎ 84-2111
教育委員会				☎ 86-2111
学校給食センター				☎ 82-5320
議会事務局				☎ 84-7180
農業委員会				☎ 82-5300
				☎ 82-5230

昭和51年4月2日以降に生まれた者で、保健師(保健婦)の免許を有する者、又は令和9年3月末までに資格取得見込みの者

○看護師

昭和51年4月2日以降に生まれた者で、看護師(看護婦)の免許を有する者、又は令和9年3月末までに資格取得見込みの者

三、試験の方法

【第一次試験】

○土木・建築

教養試験(大卒程度)・専門試験及び事務適性検査・性格特性検査・職場適応性検査

○保健師・看護師

職務能力試験及び職務適応性検査

【第二次試験】

小論文・面接による試験(第一次試験合格者)

四、第一次試験の日時、会場

▽日時

令和8年7月12日(日)

午前9時受付

※試験内容により終了時間は異なります。

▽会場

福島大学 (福島市金谷川1番地)

五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

六、採用

合格者は採用候補者名簿に記載され成績順に町長が採用する者を決定します。(名簿の有効期間は一年間)

七、受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

総務企画課及び朝日・明和公民館で交付します(郵送による場合は、140円切手を貼った自分宛の返信封筒角形2号を添付すること)。

▽申込の方法

申込用紙に必要事項を記入し総務企画課に持参又は郵送により提出ください(いずれの場合

も110円切手を貼った自分宛の返信封筒長形3号を添付すること)。

▽受付期間

令和8年5月13日から6月12日まで(郵送による場合は、6月10日までの消印有効)

●お問合せ先

只見町役場総務企画課総務係

☎ 0241-8215210

令和9年度 国家公務員「税務職員」(高校卒業程度)採用試験を行います

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか?

一、受験資格

令和8年4月1日において高校、又は中等教育学校を卒業後3年を経過していない者、及び令和9年3月までに高校、又は中等教育学校を卒業する見込みの者

二、受験申込受付期間

令和8年6月12日(金)から6月24日(水)まで

三、受験申込受付期間

受験申し込みはインターネット申し込みとする。

国家公務員試験採用情報NA

VI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)

四、第一次試験日

令和8年9月6日(日)

●お問合せ先

仙台国税局人事第二課

試験研修係

☎ 022-263-1111

内線3236

人事院東北事務局

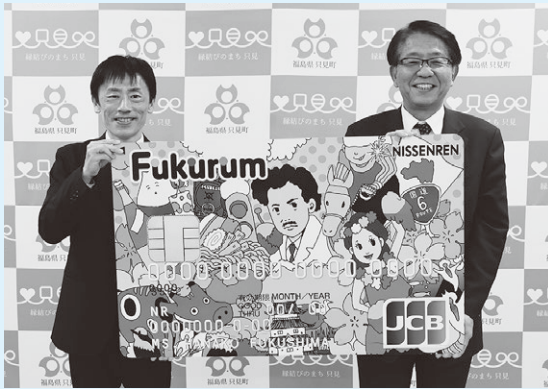
☎ 022-2221-2022

税 今月の納期

5月25日までに納めましょう

- 軽自動車税(全期)
- 農集排使用料(5月分)

フクラム 只見町が Fukurum カードに申し込みました!



▲来庁した小谷野会長(左)

○小谷野推進協議会長ら来庁

「Fukurumカード申込式」が4月22日に役場町下庁舎で行われました。Fukurumカード推進協議会の小谷野繁樹会長（福島県県産品振興戦略課長）らが来庁し、町はFukurumカードの申し込みを行いました。

小谷野会長は「県内外の方にカードをご利用いただき、令和6年度は約267万円が基金へ拠出された。新たに申し込みいただいたことに感謝したい」とあいさつしました。また、渡部町長は「Fukurumカードの利用を通じて、県内の学生が行う取り組みに町として協力したい」と話しました。

○Fukurumカードとは

Fukurumカードはクレジット機能付きの会員カードです。東日本大震災の発生以降、福島県の復旧・復興に向け、県内外から支援してくださる気持ちと支援に対する感謝の気持ちを結び付けるため、福島県が平成24年12月に(公財)福島県観光物産交流協会及び(株)日専連ライフサービスと連携し、Fukurumカードを発行しました。

Fukurumカードで決済すると、利用額の0.6%が「ふくしまの未来を創るFukurum基金」へ拠出されます。この基金は、福島県の復興や県産品の風評払拭に向け、県内の高等学以上の学校や学生が取り組む県産品の商品開発や販売活動への支援に役立てられています。

5月31日は 世界禁煙デー

毎年5月31日は、世界保健機関(WHO)が定める「世界禁煙デー」であり、日本では5月31日から6月6日までを「禁煙週間」としています。

喫煙は、がんをはじめ、脳卒中や虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)や結核、糖尿病、歯周病など、多くの病気と関係しており、予防できる最大の死亡原因であることがわかっています。

喫煙は喫煙者本人にとどまらず、周囲の人への健康影響も非常に大きいことから、健康増進法の改正(令和2年4月)により、たばこの煙と周囲への配慮は、マナーからルールへと変わっています。さらに本県では、令和3年4月1日に「ふくしま受動喫煙防止条例」を施行し、受動喫煙防止を推進しているところです。

この機会をとらえて、自分の健康や大切な家族、たばこを吸わない方のため、禁煙について考えてみましょう!

●お問合せ先

南会津保健福祉事務所総務企画課
0241-6310302



行政に関する相談を 受け付けています

行政相談委員は、地域住民の皆さんから国の行政全般に関する意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

こんな時は行政相談を ご利用ください

- ・どこに相談したらよいかわからない
- ・役所に申請したが、手続きが進まない
- ・道路・公共施設が壊れていて危ない
- ・道路・公共施設を使いやすくしてほしい



- ・手続きや窓口を教えてもらって解決
- ・役所に調整してもらって解決
- ・壊れていた箇所が修理されて解決
- ・道路案内標識が分かりやすくなって解決

相談は無料で、秘密は守られます。

●只見町担当行政相談委員

目黒真弓さん(小川)
0241-2708



ただみの今を支える人たち

ヤマサ商店 代表 佐藤 弘 さん



私が2代目として継ぎましたが、ナメコは年中採れるわけではありません。冬は仕事にならないので、缶詰めだけではダメだと思い、菓子や総菜、ビン詰めなど、たくさんの製造許可を取りました。それから、手打ちそば屋も始めました。現在は6名の従業員さんが頑張ってくれています。特に、3代目の翔太がいるので、代が続いていくのは嬉しいですね」

— どんな思いで商品を作っていますか？

「できるだけ添加物を入れない食品を作りたいと考えています。そして『自分が食べたい、旨いもの』を作りたいですね。

うちはすべて手作りで、自社の工場でイチから作っています。いま作って売っている商品は20アイテム以上あります。いろいろな商品を自分たちの手で作っていることが、こだわりですね」

— 新しい商品はどのように作っていますか？

「新商品は、私と翔太で話し合っただけで決めます。試行錯誤を重ねて『これは自信があるぞ！』と満を持して販売してみたら、案外売れないこともあります。でも、思わぬ商品

— お店の始まりについて教えてください。

「昭和39年に父・実がヤマサ（人にサ）缶詰工場を始めました。地域の缶詰屋さんとして、山で採ってきたナメコなどを加工・販売していました。

がお客様から評価されることもあって、面白いのです。

全部手造りなので、まずはどのようにして作るか。それから、どのようにして売るか。そして、お客様がどういう反応をするか。こうして考えるのが、この仕事の一番の楽しみですね」

— おすすめの商品について教えてください。

「ロングセラーのゆべしは、くるみやじゅうねんなど、お好きな味を選べます。ひとくちゆべしも作っています、個包装なので食べやすく持ち歩きやすいのがポイントです。

ブナセンターとの共同開発でブナ林の恵み餡と恵み茶も作りました。樹木の葉をブレンドして、やさしい味に仕上げられています。

それから最近発売した山菜バター。只見で採れた山うごとふきのとうを練り込んでいます。3代目が思考に思考を重ねて作り上げたので、ぜひ多くの人に召し上がってほしいです」



○ヤマサ商店

住所：只見町叶津字入中島1600-10
TEL：0241-82-3401
手造りの商品は町内外のお店、インターネット通販でお買い求めください！

5月下旬～6月 イベント情報

5月23日(土) 「民話茶屋」

只見町昔ばなしの会による昔ばなし語りと、茶道石州流喜楽会による抹茶の提供があります。

【時間】午前10時30分
【場所】ただみ・モノとくらしのミュージアム いろいろの間

【問合せ先】ただみ・モノとくらしのミュージアム (Tel 0241-86-2175)

6月7日(日) 蒲生岳山開き

只見4名山の1つ蒲生岳の山開きです。標高はそれほど高くはないものの、急坂や岩場があり、中級～上級者も楽しめます。

【時間】午前6時30分
【場所】蒲生集会施設「雪の里」 駐車場
【問合せ先】只見町インフォメーションセンター (Tel 0241-82-5250)

6月14日(日) 会津朝日岳山開き

標高1624メートルの山頂から望む景色が絶景。山開き前後は山頂付近に雪渓があり、アイゼンやピッケルなどが必要です。雪が消えると険しい岩場が露出します。上級者向け。

【時間】午前6時
【場所】赤倉沢登山口
【問合せ先】只見町インフォメーションセンター (Tel 0241-82-5250)

6月28日(日) 浅草岳山開き

標高1585メートル。福島県と新潟県の県境に立つ山。様々な植生の観察を楽しみながら登ることができます。ロングコースで、足場が悪く滑りやすい箇所もあるため、上級者向けです。

【時間】午前6時
【場所】只見沢登山口
【問合せ先】只見町インフォメーションセンター (Tel 0241-82-5250)



※編集時点における開催予定になります。詳細は各問合せ先に確認ください。

町民の消息

(3月26日～4月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

なかの みね
中野 峰 (女/陽介・智子) 只 見

■ご結婚おめでとうございます

坂田 酒井 智也 ♥ 三瓶 綾子 福井

■おくやみ申し上げます

飯 塚 成 子 71歳 大 倉
佐 藤 陽 子 98歳 二軒在家
菅 家 芳 雄 86歳 十 島



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和8年4月1日現在

人 口	3,364 (-40)
男	1,682 (-21)
女	1,682 (-19)
世帯数	1,433 (-28)
高齢化率	48.7%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 18 転出 52 出生 1 死亡 7

▽4月より広報担当になりました滝沢です。前任から引き継ぎ、広報ただみを作っていく重責を感じている日々です。より良い広報紙になるよう努めてまいります。▽今月はたくさん講演会やセミナーが開催され、取材しながら只見町のことを学んだり考えたりしました。町の歴史や町民のみならず、日々取り組んでいる活動など、今まで知らなかった只見町の姿を見るのができました。そして、そのひとつひとつを広報で伝えていきたいと感じました。今後、町内各地に取材でお邪魔いたしますので、その際はどうぞよろしくお願いたします。(滝沢)

あとがき

明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室
☎86-2111

おすすめ新着図書

★見えない死神



【著】東えりか (集英社)

ある休日、夫が原因不明の激しい腹痛に襲われた。病院でどれだけ検査を行っても原因は特定できず、ただ時間ばかりが過ぎ、彼はどんどん衰弱していく。入院から3ヶ月後、ようやく告げられたのは「原発不明がん」の可能性、そして夫の余命はあと数週間ではないか、という非情な事実だった。この「原発不明がん」とは、いかなる病気なのか？治療の断念、退院と緩和ケアの開始、自宅での看取り。発症から夫が亡くなるまでの約160日間を克明に綴るとともに、医療関係者への取材も行い、治療の最前線に迫ったノンフィクション。

★がっこうだってどきどきしてる

【著】アダム・レックス (WAVE出版)



学校はドキドキしていました。なにしろ、ついこのあいだできあがったばかりでしたし、だれかの家になるのだと思っていたら、なんと学校として、たくさんの子どもを受け入れなくちゃいけないのですから。はじめてのクラス、はじめての学校、みんなドキドキするものだけど、学校だってドキドキしてるって知ってた？

学校がちょっと怖い子、苦手な子、いやだなあと思う子たちへ！こんな学校だったら、ちょっと面白いんじゃない？

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう





伊南川の自然を守れ！ 外来植物ハリエンジュの繁茂を防ぐ 河川管理のあり方



伊南川の水辺林に入り込んだハリエンジュ
(中央の白い花を咲かせている木)



伊南川では5月下旬から
6月上旬に花を咲かせる

伊南川には、貴重な木「ユビソヤナギ」が、日本一の数で育っています。しかし近年、北米原産の外来植物「ハリエンジュ(ニセアカシア)」が川岸に広がり、ヤナギの森を脅かしています。

新潟大学と只見町ブナセンターはこの問題に注目し、ハリエンジュがどこで増えやすいのかを伊南川全体で調査しました。上流(檜枝岐村)から下流(只見町)にかけて川の形や洪水後の地形を記録し、ハリエンジュの分布と照らし合わせた結果、興味深いことがわかりました。

ハリエンジュは川幅がせまく、洪水のあとに砂や石がたまりやすい上流から中流(檜枝岐村や南会津町)に多く、川幅の広い下流(只見町)では少ない傾向にありました。下流では洪水のたびに水に長くつかるため、過湿な環境に弱いハリエンジュは育ちにくいと推察されました。

この発見は、自然な洪水がハリエンジュの広がりを抑える力がある可能性を示しています。河川管理や自然保護の計画を立てるうえで、川幅を広く保ち、水が河川敷で自然にあふれる環境を維持することが大切と考えられます。

なお、この研究の詳細は、以下の論文に掲載されています。

上村ころ・中野陽介・崎尾均(2025)福島県伊南川本流におけるハリエンジュの分布と河川環境. 植生学会誌42(2): 91-98.



只見町ブナセンターからのお知らせ

企画展「アリからクマまで－タネをまく動物」

期間：4月4日(土)～11月30日(月) 場所：ただみ・ブナと川のミュージアム

内容：自ら動くことができない植物は、動物の力を借りてタネを遠くに移動させ、子孫を残してきました。本企画展では、その仕組みなどについて、全国の研究者が解説します。また、大人から子供まで楽しく理解できるよう工夫をしましたので、ぜひ見学にお越しください。

※この広報紙は再生紙を使用しています

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています